

ハイバリア PET ボトルを容器として初めて採用した 「楽園 ブランデー梅酒ペット (325ml)」を発売

清洲桜醸造株式会社
三菱樹脂株式会社

清洲桜醸造株式会社（本社：愛知県清須市 社長：柴山 一郎）は、三菱樹脂株式会社（本社：東京都千代田区 社長：姥貝 卓美）のハイバリア PET ボトル*を容器として初めて採用した小容量（325ml）の「楽園 ブランデー梅酒ペット」を3月3日に発売します。本商品は、100%国産梅と熟成したブランデーを使用した梅酒で、新たな容量（325ml）製品の発売にあわせて、持ち運びに便利で品質保持性にも優れるハイバリア PET ボトルを容器として採用しています。

清洲桜醸造は、1853年（嘉永六年）創業の日本酒メーカーで、「清洲城信長 鬼ころし」などのロングセラー商品を有し、東海4県でトップの日本酒の出荷量を誇ります。近年では、焼酎やワイン、梅酒などの新商品の開発に注力しており、その一方で、業界に先駆けてガラス瓶を紙パックに切り替えるなど、新たな容器の採用にも積極的に取り組んでまいりました。この「楽園 ブランデー梅酒」については、紙パック容器入りの1.8L品及び500ml品を従来から販売してまいりましたが、今般の新容量（325ml）の発売にあわせて、持ち運びに便利で開封後の保管も容易なPETボトルを容器として初めて採用しました。小容量のPETボトルは、家飲みに加えて花見などのアウトドアの場面にも最適です。

また、PETボトルには、三菱樹脂が製造・販売を行うハイバリアPETボトルを採用しています。このハイバリアPETボトルは、容器の内面に薄い炭素膜を蒸着させることで、一般的なPETボトルと比べて約10倍の酸素バリア性（遮断性）を付与するなど、内容物の劣化を大幅に抑制可能な高機能PETボトルです。三菱樹脂では、2010年から本格事業展開を行っており、ワイン容器を中心に好評を得ています。なお、「楽園 ブランデー梅酒ペット」の採用にあたっては、約65度の加熱充填時の容器の凹みを防ぐため、PETボトルの厚みやリブ設計を工夫しています。

清洲桜醸造は、「いつでも、どこでも、おいしい」をモットーに、こだわりの酒造りの姿勢を崩すことなく、毎日の生活の中で愛飲してもらえる、より良いお酒の製造に、今後も取り組んでまいります。また、三菱樹脂は、ハイバリアPETボトルを容器事業の中核製品と位置づけ、生産体制の整備を進めるとともに、今後もお客様のご要望に基づく製品開発を進め、アルコール飲料や食用油、調味料など、多岐に渡る分野への事業展開を積極的に進めてまいります。

※ キリンビール株式会社等が特許を保有するDLC（ダイヤモンドライクカーボン）技術を用いたPETボトルで、一般的なPETボトルに比べ、酸素で約10倍、炭酸ガスで約7倍、水蒸気で約5倍のバリア（遮断性）を有しています。DLC技術とは、真空状態にしたPETボトルにアセチレンガスを充填しプラズマを発生させることで、薄い炭素膜を内面に蒸着させ、バリア性を大幅に向上させる技術です。

【新商品の概要】



商品名 : 楽園 ブランデー梅酒ペット
容 量 : 325ml
特 長 : ブランデーの香り漂う、おいしい国産梅酒
販売開始 : 2014年3月3日
希望小売価格: ¥280- (税込)

【会社概要】

清洲醸造株式会社

本 社 : 愛知県清須市清洲 1692 番地

代表者 : 代表取締役社長 柴山 一郎

設 立 : 1949年10月

事業内容: 清酒・焼酎・果実酒・リキュール・スピリッツの製造販売

主要商品: 「清洲城信長 鬼ころし」、「焼酎 ええなも」、「楽園 ワイン」、「楽園 梅酒」

三菱樹脂株式会社

本 社 : 東京都千代田区丸の内 1-1-1 パレスビル

代表者 : 取締役社長 姥貝 卓美

発 足 : 2008年4月

資本金 : 約215億円

事業内容: 合成樹脂の製造・販売

本件に関するお問合せ先

清洲醸造株式会社

総務部

電話: 052-409-2121

株式会社三菱ケミカルホールディングス 広報・IR室 電話: 03-6748-7140